

[A類英語コース, B類英語コース 対象]

学校推薦型選抜 解答例 令和8年度

小 論 文

I 解答例

社会学や人類学を専攻する新入生は様々な将来の目標を語ったが、卒業を間近に控えた学生は、進路を決めかねていた。技術的・社会的・経済的な変化は、労働市場や仕事そのものの再定義をせまる。主に AI やテクノロジーの進歩によって目まぐるしく変化し続ける複雑な労働市場では、デジタルリテラシーに加え、分析力や創造的思考といったスキルの重要性が増している。特に不況やコロナ禍によって将来に不安を抱える学生が増え、本来様々な職業に触れ自己開拓する時期でさえも、本当に自分の興味や能力に合っているかも考えずに、法律・福祉サービス・行政に関わる仕事を必死に探している。過去の楽観主義は変わり、仕事への情熱よりも、安定性を求める風潮が広まっている。この予測不能な激動の世の中だからこそ、創造し、発明する、また世界を異なる視点でとらえ再構築するという人類の強みを最大限に引き出せるような教育が求められている。それは、学生だけではなく人類の未来のためでもあるのだ。(417 字)

〔 A類英語コース, B類英語コース 対象 〕

学校推薦型選抜 解答例 令和8年度

小論文

Ⅱ 次の文を読んで、その意見に賛成か、反対かについて、その理由と共に 200 語程度の英語で書きなさい。

「日本の高校生は英語圏に留学するだけで、日本国内にいるよりもその英語力を確実に伸ばすことができる。」

【出題意図】

留学が日本の高校生の英語力伸長に役立つかどうかについての自分の意見を、文法的かつ自然な英語を用いて論理的に書くことができるかをみるのが、この問題の出題意図である。